

いつか三一会という会の通牒が来て、出席者は  
 君の名前が出てゐるので、こんど君と同席でまらや  
 うな機会が得られたいと考へたりしてゐ  
 る。実現となるとそれとまらやがむつかしいが、いつこ  
 ろ通知がくることよ、こゝろときを利便し〜まらやに会える偶  
 然をよこさばたいと思つてゐる。娘のことではいろいろ伊  
 豆んを煩げしたが、僕の女房の妹が青山学院で出ゐるので  
 試験をうけさせるところ、折よく、お改の教授は僕の友人がゐて  
~~青山~~、そのせいだけで済むが、よまかく青山に入らるゝこと  
 して、しつと早くそのことをお知らせするつもりでゐるが、  
試ヶんをハスしたので

六日の上京。夜に入つてから電話でお話ししたいと思つてゐ  
 る。即令開きよろしく。何々の雑誌は今娘の宿舎が  
 出〜めちの下見で、送るべく肝の早さ、瞳目してゐ  
 る。先日富沢上京してきたよし。僕は金持よかつたが大  
 へん元氣だつたといふことを清川豊からきいた。僕

の品川の家にも電話が通じた。(大森五七八三)

四月廿一日

尾崎生

大森卓学尾

四月廿一日  
 尾崎士郎